

「第2期墨田区総合戦略・人口ビジョン」(案)に係る
パブリック・コメント実施結果等について

「第2期墨田区総合戦略・人口ビジョン」(案)について、広くご意見を募集しましたところ、貴重なご意見・ご提案をお寄せいただきました。

ご意見・ご提案をいただいた方に厚く御礼申し上げますとともに、今回いただいたご意見等の概要並びにそれに対する区の考え方を公表いたします。

1 パブリック・コメントの実施概要及び結果

(1) 公表資料

「第2期墨田区総合戦略・人口ビジョン」(案)

(2) 意見募集期間

令和4年1月21日から令和4年2月18日まで

(3) 意見募集の周知・公表方法

ア パブリックコメントの周知

区のお知らせ(令和4年1月21日号)

区ホームページ

イ 公表資料の閲覧

区民情報コーナー(区役所1階)

政策担当(区役所6階)

区ホームページ

(4) 意見提出方法

郵送、ファックス、電子メール、専用の受付フォーム又は持参

(5) 意見提出先

企画経営室政策担当

(6) 意見募集の結果

意見提出者数 2人

意見総数 4件

2 意見等の概要及び区の考え方

NO	意見等の概要	区の考え方
1	今後の発展のためには、曳舟駅周辺のような大規模マンションの建築や中小企業の集約・大企業化をしていくことが、効率的ではあるが、下町文化とモノづくり文化とのバランスが取れた施策が必要である。	これまでに築き上げられてきた多種多様な産業やすみだの歴史・文化等を大切にしつつ、持続的に成長できるまちづくりを進める必要があると考えています。 まちづくりにあたっては、地域の成り立ちや現在の土地利用、市街地整備の動向などまちの特性を踏まえたエリアを設定し、地区ごとの個性を生かしながら区全体の魅力や価値の向上につなげていきます。

<p>2</p>	<p>大企業の誘致、大学の設立や大規模病院がないことも人口流出の原因ではないか。</p>	<p>(大企業の誘致)</p> <p>企業の集積は、地域に働く場を確保し、関係人口を創出することなどを通して、地域の活性化につながることを考えています。「産業振興を通したまちづくり」を目指す本区にとって、企業規模の大小を問わず、区外から企業を呼び込み、区内企業との連携を促進する施策を進めていきます。</p> <p>(大学の設立)</p> <p>令和2年に情報経営イノベーション専門職大学の開学、令和3年には千葉大学墨田サテライトキャンパスが開設されました。両大学と連携し、地域課題の解決、地域経済の活性化や賑わいの創出を図り、本区に暮らし続けたいと思えるまちづくりを進めていきます。</p> <p>(大規模病院)</p> <p>地域医療を支える病院の存在は非常に重要であると考えています。4月からは新たに区内の病院が地域連携病院の承認を受けるとなり、医療連携体制がさらに充実するものと考えます。また、コロナ禍では医師会をはじめとした地域関係機関との連携により、健康被害の拡大防止、患者の医療の確保に取り組み、コロナ対策を通じて、地域全体で「地域完結」できる医療体制の実装に繋げてきました。今後は、地域医療構想をより一層進めることで、多職種が連携して地域全体の医療を支える魅力ある地域づくり、区民が安全・安心に暮らせ、健康を支援する環境づくりをめざします。</p> <p>さらに、学校跡地を病院の移転等貸付用地として活用していき、地域医療連携の推進を図っていきます。</p>
----------	--	---

3	<p>マンション、アパートの建設ラッシュが続いているが、転勤・単身者の仮住まいや、畜資産等によるもので、本当の人口増に対する効果があるのか。</p>	<p>通勤・通学の利便性が高いこともあり、若年層の転入増などを背景に単身世帯が増えているのが現状です。</p> <p>単身世帯は国全体で増加傾向にあり、本区においても約52%を占める一方、子どもがいる世帯の割合は減少傾向にあります。</p> <p>今後も多様な世帯が住み続けられる住宅施策を進めるとともに、人口動態を見極めた施策に取り組む必要があると考えています。</p>
4	<p>人口を増やすことが必要なのか、人口減少を防ぐための方策を含め、総合的な対応をして欲しい。</p>	<p>人口減少・少子高齢化社会の中で、将来にわたって活力ある社会を維持するためには、まち・ひと・しごとの観点から施策を展開する必要があると考えています。</p> <p>そのため、子育て支援、子育て環境の充実など子育て世帯をはじめ、誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりを進めるとともに、多様な業種の企業集積による産業の活性化を図り、働き続けることができる環境をつくり、持続可能なまちづくりを進めていきます。</p>